

平成 2 9 年

亀山市教育委員会 2 月定例会会議録

亀山市教育委員会 2月定例会会議録

1. 日 時

平成29年2月22日（水） 9時30分開会

2. 場 所

亀山市役所 本庁舎 3階 理事者控室

3. 出席委員

教育長	服 部 裕
1番委員	井 上 恭 司
2番委員	大 萱 宗 靖
3番委員	宮 村 由 久
4番委員	太 田 淳 子

4. 欠席委員

なし

5. 議事参与者

教育次長	大 澤 哲 也
教育総務室長（以下総務室長という。）	原 田 和 伸
参事(兼)学校教育室長（以下学校室長という。）	伊 藤 早 苗
教育研究室副室長（以下研究副室長という。）	小 坂 みゆき
生涯学習室長（以下生涯室長という。）	亀 山 隆
図書館長	井 上 香代子
歴史博物館長（以下歴博館長という。）	小 林 秀 樹
まちなみ文化財室長（以下まち室長という。）	山 口 昌 直
教育総務室主幹（書記）	木 崎 保 光
教育総務室主任主事（書記）	三 井 直 子

6. 教育長職務代理者の指名

教育長 教育長職務代理者の指名について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条第2項の規定に基づき、「教育長に事故があるとき、又は教育長が欠けたときは、あらかじめその指名する委員が職務を行う。」とあるため、教育長職務代理者に井上恭司委員を指名する。
(辞令交付)

7. 会議録署名者指名

1番委員 (井上恭司委員)

2番委員 (大萱宗靖委員)

8. 教育長報告

教育長 1月19日の学校問題検討委員会では、鈴鹿市で起こった中学生暴行死事件を担当する弁護士から経過をお聞きした。

20日、26日、27日は教育委員による学校訪問を行った。

20日の行革統括管理委員会は、60年先を見越した学校等の公共施設の在り方や姿を示した会議であった。学校を簡単に統廃合するといった話ではないが、学校の統廃合、コミュニティーセンター、高齢者施設、小学校と中学校の合体等色々な姿がイメージされていた。

25日、教育民生委員会協議会の所管事務調査があった。教育民生委員会に属している議員が、「図書館の在り方」についてをテーマとし半年間研究をしていくため、関係資料の提供等を行った。

同日午後、白川小学校において行われた文化財防火デー消防訓練に参加した。

2月9日は教育委員による幼稚園訪問を行った。学校及び幼稚園の評価等のまとめは、協議会で報告させていただく。

13日、退職議員友の会で講演を行い、新教育委員会制度や学校教育について説明するよう依頼があったため、説明を行った。

同日の市町教育長会議・都市教育長部会では、新年度の県の施

策や方向性が示された。

16日の学校保健会講演会では、名古屋市立大学の睡眠においてトップクラスである方を講師としてお招きし、講演を行っていただいた。

18日、美し国駅伝の結団式に参加させていただいた。亀山市の順位は9位であった。

20日は北勢同研協議会があり、北勢の市町教育委員会代表や教職員代表が人権同和教育について話し合った。市町の繋がりを大事にしていこうということで会議を終えた。

22日の午後から、伝統的建造物群保存地区保存審議会に出席する予定である。

井上委員 美し国駅伝の継続や廃止について、県のレベルで話題となっているのか。

教育長 三重県はインターハイや国体の開催が近いことから、駅伝についてもますます盛り上げていこうという話を伺っている。

井上委員 29市町の長が納得していればよいが、選手集めや経費負担、順位も固定的である等で苦勞しているという話を聞いたため、県レベルで廃止の流れがないのかと思い、質問した。

教育長 主催は市長、文化スポーツ振興局及び亀山市体育協会であるため、私は来賓として出席し挨拶をさせていただいた。文化スポーツ分野は市長部局に執行委任しているため、このような形となっている。よって、県レベルの会議にも市長部局が参加している。
(ほかに質問はなく、教育長報告を終わる。)

9. 協議事項

教育長 協議事項1「平成28年度小中学校卒業式及び幼稚園卒園式告辞について」の説明を求める。

教育次長 書記の朗読をもって説明に代えさせていただきます。
(書記告辞(小学校)朗読)

太田委員 「偉業」という言葉を小学生が理解できるか。もっと易しい言葉にしてはどうか。

研究副室長 耳から聞くだけでは理解しにくいと思うので、ほかの言葉を検討します。

宮村委員 代案がないため、感想として受け取ってほしい。

告辞の中に、保護者の皆さんへ向けた内容があるが、幼稚園の告辞と比較すると小学校や中学校は少ない。さっぱりしすぎている気がするので、もう少し増やしてはどうか。

オリンピックを例にして具体的に話すことは分かりやすく、良いことだと思う。しかし、告辞のうち、半分も使っているため、長い気がする。

研究副室長 保護者の皆さんへ向けた言葉は、幼稚園の卒園式の告辞に多く使われています。一方、小学校の卒業式については、高学年ということもあり、卒業する本人たちに向けた言葉が多く、保護者の皆さんへ向けた言葉が少ないのが例年の状況となっています。

スポーツについての話題が多い理由については、具体的な例を出すことで子どもたちの関心をひきつけ、告辞の内容を心に残すためであり、例年続けています。

教育長 5、6年以上前の告辞はA4版で1ページに収まらない分量であったが、近年は随分スマートになったと思う。

井上委員 私も感想として述べる。

小学校及び中学校の告辞で、有名選手の成功事例が挙げてある。小中学生、特に中学生は、学校に行けないことや人間関係等で悩んでいることがあり、極端な話、命を絶つ場合もある。失敗や失敗を克服した事例あるいは子どもたちの実態や思いを具体的に書けとは言わないが、そのような厳しい状況の中、成功事例だけを長々書くのはいかがなものかと思う。私が校長であったときは、有名選手を引き合いに出した話はあまりしないようにしていた。しかし、教育委員会の告辞がこのようにならざるを得ないのは分かる。

例として紹介すると、とある人が「江戸しぐさ」という言葉を解きほぐした話をされていた。そのことが、いまだに頭に残っている。このような話も候補として挙がってくるのではないか。

教育長 今後、これらの感想を頭におき、留意して告辞を作成してほしい。

(書記告辞(中学校)朗読)

大萱委員 小学校の告辞では陸上について書かれており、分かりやすく良いと思う。一方、中学校で大谷選手のことを取り上げているが、

野球をしていた子どもにしか分からない内容ではないか。例えば、二刀流や160キロの球速がすごいのかどうか分かりにくくはないか。また、女性である太田委員は、野球のことが多い内容を述べることに抵抗はないか。

太田委員 朗読された告辞を保護者の立場で聞いていたが、内容について特に違和感はなかった。二刀流や160キロの球速がすごいのかは全く分からないが、有名選手も頑張っていることや、同じくらい頑張ればその選手に近づけるかもしれないということを生徒たちに伝えたいという気持ちが保護者に伝わるのではないかと思う。

大萱委員 私たちの世代は全員野球をしてきたが、今はルールが分からない生徒もいるのではないかと気になった。内容に異論はない。

井上委員 先ほどと重複するが、子どもの実際の生活との密着度や体験あるいは思いというものが、告辞の中で非常に少ないので、子どもの心に響かないのではないかと思う。

また、感想であるが、必ず最後に書かれている「今日まで温かくご指導いただきました校長先生はじめ諸先生方…」とあるが、教育委員から言われると、校長としては褒めていただいた嬉しさよりもこそばい気持ちになった印象がある。

研究副室長 「結果を達成するために長期、中期、短期の目標を立て、イメージをもって…」という内容のとおり、大谷選手が計画的に夢に向かって着実に進んでいくことを今後の参考にしてほしいという思いから、このエピソードを選びました。

井上委員 よく分かるし、内容に異論はない。告辞なのでこのような内容になると思うが、3年間様々な苦勞をしてきた生徒が聞いてどう思うかなとは感じた。

教育長 苦しい学生生活を送り新たな進学先へ向かっていくような話をしたり、人権作文等を紹介したりすることもできる。私が校長のとき作文の紹介をし、子どもが食いついてきた感触を得た経験がある。来年度以降は成功物語だけに限らず、色々考えてほしい。

(書記告辞(幼稚園)朗読)

(ほかに質問はなく、協議を終わる。)

10. 報告事項

- 教育長 報告事項1「亀山市準要保護児童生徒認定検討委員会委員の委嘱」について説明を求める。
(学校室長説明)
(質問はなく、報告を終わる。)
- 教育長 報告事項2「平成28年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について説明を求める。
(研究副室長説明)
- 太田委員 10ページ③生活習慣等について、朝食を「毎日食べる」と回答した児童・生徒の割合や中学生の一日の睡眠時間が全国や三重県の平均を下回っているとあるが、具体的な数字はどれくらいか。
- 研究副室長 現在資料がありませんので、協議会でお答えします。
- 太田委員 朝食を食べられない理由や睡眠時間が短い原因も協議会で教えてほしい。
- 大萱委員 平成26年と比べ、亀山市の平均値がどんどん上がっているのは良いことだと思う。成果が出てきた要因として何か考えられるのか。
- 研究副室長 教職員が調査に慣れてきたことが考えられます。実技に関する調査は1回しか測定してはいけないという決まりはなく、何回か測定したデータのうち、最も良いものを使用してよいとことなっています。しかし、現場では時間がなかったため、何年か前までは1回しか測定していませんでした。近年では、生徒や教師が調査に慣れ、時間に余裕ができたとともに、何回測定してもよいという考え方が浸透してきたため、平均値も上昇したと考えられます。
- 大萱委員 一年を通して測定した値のうち、最も良い値を使用できるということか。
- 研究副室長 4月から7月末までの期間中に測定した値であれば、その中から最も良い値が使用できます。
- 教育長 亀山市に限った要因としては、公費を投じ、計画的に年に複数回、体育インストラクターを就学前と全ての小学校に派遣していることが功を奏してきていると考えられる。
- 井上委員 9ページ5(1)に「D・E(下位)の割合が高くA・B(上位)

の割合が低かったが、改善傾向にある」と書かれている。体力テストも学力学習状況調査と同様に2こぶラクダのようになっており、特にD・Eの割合が高い。原因は色々あると思うが、D・EをCに持ってくるのが急務ではないかと思うので、今後も頑張ってもらいたい。

13ページに〈具体的な取組〉が書かれている。ルール内で体力テストを行うのはよいが、加熱しすぎないようにお願いしたい。極端に言うと対策に走らないようにしてほしい。慣れさせることは必要だと思うが、対策をしすぎると運動嫌いも増えてくるかもしれない。体力テストばかりにならないように指導してほしい。

宮村委員

小さいときからスポーツに親しむことが体力や運動能力の向上につながる。また、健康で文化的に過ごせる基礎づくりになるので、スポーツが好きな子どもを育てることは大事なことだと思う。

13ページの〈具体的な取組〉の中にある「1園・学校1運動プロジェクト」について質問したい。かつて行われていた「一村一品運動」という取組については成功事例も色々あった。しかし、その後三重県は「一村一文化運動」という取組を始めた。ここにも「1園・学校1運動プロジェクト」と書かれているが、個人的に違和感を覚える。文化や運動は多様なことをしていく方がよいと思う。その中で、一つの学校が一つの運動に特化すると、その運動に向いている子どもはよいが、その運動が好きではない子どもは返ってスポーツ嫌いを助長するようなことは好ましくない。1園・学校1運動プロジェクトの中身について聞かせてほしい。

研究副室長

亀山市独自のプロジェクトとして、県で行っている「1学校1運動プロジェクト」を幼稚園に広げて行っていくことを考えています。学校の場合、現在、体育の授業以外では子どもの自主性に任せて遊ばせています。しかし、中には外に出て遊ばない子どもも多くいるため、体育の授業以外の時間に、子どもたち全員を対象として運動をします。具体例としては、週に1回学級遊びを行ったり、ある週をなわとびやドッジボールを行う週にしたりするなど考えられます。取組内容はそれぞれの学校で工夫して行ってもらいます。

宮村委員

スポーツというのは非常に楽しいことであり、体力向上においても効果的であるため、子どものときに様々なスポーツを経験し

て、子ども自身で好みのスポーツを選んでもらいたいと思う。ぜひ、「1園・学校1運動プロジェクト」を成功させていただきたい。

井上委員 具体的な取組について、現場から報告を求めるのか。啓発や指導する程度か。

研究副室長 1園・学校1運動プロジェクトは学校教育ビジョンの成果指標になっているため、アンケートを用いて調査し、進捗状況を測りたいと思っています。小学校3年生以上の体力については、全国体力・運動能力、運動習慣等調査から状況が分かります。また、元気アップシートについては県の取組であるため、県へ報告します。

井上委員 報告を求められるということである。学校の仕事がまた増えると感じた。

(ほかに質問はなく、報告を終わる。)

教育長 報告事項3「図書館利用状況について」説明を求める。

(図書館長説明)

(質問はなく、報告を終わる。)

教育長 報告事項4「工事及び委託事業の発注状況」について説明を求める。

(まち室長説明)

(質問はなく、報告を終わる。)

教育長 報告事項5「教育委員会行事報告及び予定表」について説明を求める。

(総務室長、学校室長、研究副室長、生涯室長、図書館長、まち室長、歴博館長説明)

(質問はなく、報告を終わる。)

1 1. その他

教育長 3月の定例会は3月24日(金)13時30分からとする。

臨時会は3月1日(水)16時から、3月17日(金)11時30分から(予定)とする。

事務局 卒業式参加者名簿を配布しました。

12. 閉会

10時45分